

不登校を生じさせない学校づくりをめざして

効果のあった取り組み事例(聞き取りから)

小学校

心配される児童には個別支援票を作成し、効果的なかかわり方を工夫した

担任と児童支援担当が頻繁に連絡を取り合い、朝の迎えや家庭訪問を行った

支援会議を開き、子どもへの支援を具体的に話し合ってチームで支援できた

中学校

学年会・職員会で不登校生徒の話題が必ず出て、職員間の共通理解ができた

休み始めた時に、すぐに原因(学校でのトラブルなど)を解消したため安心して登校できた

別室で教科学習だけでなく、美術や技術・家庭の実習を取り入れたことで欠席がなくなった

今後の不登校支援のポイント

欠席に敏感に

月3日休む子どもへのきめ細かな対応を!

欠席が増えたら

長期化しないような支援を!

チームで対応・つながりを持つ・学習面、進路面でのサポートを丁寧に!

そのためには・・・

早い段階で個別支援票をもとに一人ひとりの状態を適切に把握し、効果的なかかわりを!!

9月以降のポイント

欠席時の効果的な支援(家庭訪問・電話連絡・保護者面接)など

わかる・楽しい授業の工夫

友だち、教員との人間関係への配慮

は「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」を活用する。

不登校支援のための組織とそれぞれの役割の明確化